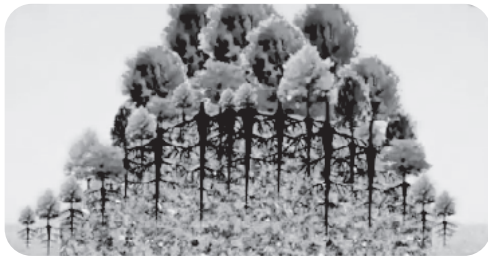
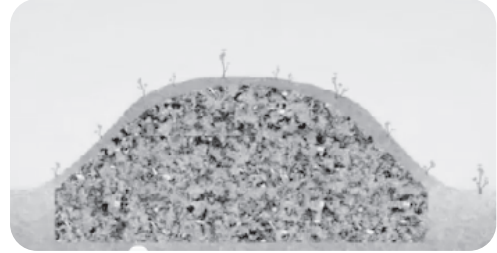


みんなで応援しよう！

瓦礫を活かす森の長城プロジェクト

思い出のつまった被災財を
燃やさないで！！

震災ガレキは、
被災地の方々にとって、
その土地に息づいていた生活の形見です。



～命の宿っていたところに、命を再生させる～
今こそ、瓦礫の山から、未来へ伝えるいのちの森を。
それは、津波から人びとを守る「森の防波堤・防潮堤」です。

昨年5月から南相馬市の桜井市長も要望し続けてきた、震災によって
生じたガレキを、復興の第一歩である防潮林の土台に再利用しよう
というプロジェクトが、大きく立ち上がりました。

宮城県岩沼市や、岩手県大槌町では既に始まっています。

(写真は宮城県岩沼市で盛り土に苗木を植える親子。5月26日13:35 時事通信社)



瓦礫を活かす

いのちを守る

力を合わせて
築く

未来への
モニュメント

一般財団法人「瓦礫を活かす森の長城プロジェクト」

理事長・細川護熙元首相

副理事長・宮脇昭・横浜国立大名誉教授 (植物生態学)

理事・秋元康 (作詞家)、ロバート・キャンベル (東京大教授)

佐藤可士和 (アートディレクター) 他

評議員・倉本 聰 (脚本家) 他

【YouTube・日本記者クラブ公式チャンネルより】

<http://www.youtube.com/watch?v=1xwb69eJf64&feature=colike>

■ 9000万本の苗木を栽培し被災地の沿岸部で防波堤づくりを。1口500円の寄付に協力しましょう！